



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月12日

上場会社名 GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3788 URL <https://www.gmogshd.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 青山 満
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 池谷 進 (TEL) 03-6415-6100
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)
(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	15,108	7.4	983	20.6	957	13.6	703	33.1
2024年12月期第3四半期	14,071	9.6	815	△4.5	842	△9.2	528	△8.7

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 654百万円(△10.1%) 2024年12月期第3四半期 727百万円(△35.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	61.24	—
2024年12月期第3四半期	45.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	18,199	9,705	53.2
2024年12月期	18,027	9,487	52.5

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 9,685百万円 2024年12月期 9,460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	0.00	0.00	0.00	37.22	37.22
2025年12月期	0.00	0.00	0.00		
2025年12月期(予想)				49.84	49.84

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	20,397	6.4	1,434	15.1	1,422	9.6	880	3.0
								76.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 3 Q	11,693,000株	2024年12月期	11,693,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	211,358株	2024年12月期	211,358株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 3 Q	11,481,642株	2024年12月期 3 Q	11,519,289株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社連結企業群は、インターネットサービス市場において、電子認証や電子印鑑を中心とした認証技術を活用し、セキュリティサービスをグローバルに提供する「電子認証・印鑑事業」、29年を超える運用実績とノウハウを生かしたレンタルサーバー（ホスティング）サービスおよびマネージドクラウドサービスを提供する「クラウドインフラ事業」、そしてDX化による業務効率化・高付加価値化を実現し、様々な課題解決を支援する「DX事業」を展開しております。これらの事業を通じ、利便性と安心・信頼を兼ね備えたインターネットサービスを提供し、多くの企業のインターネットビジネスを支えるべく事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間においては、インターネットのセキュリティへの意識の高まりをうけ、電子認証・印鑑事業が力強く成長いたしました。重点商材として位置づけている電子契約サービス「電子印鑑GMOサイン」およびログイン認証強化サービス「GMOトラスト・ログイン」は、引き続き好調に販売を伸ばしました。また、電子認証事業は国内外の大型案件の獲得などが牽引し、第1四半期における特定の海外大手顧客による受注減少の影響から堅調に回復しております。

また、企業のDX推進のほか、生成AIなどの技術が急速に進化したことにより様々な分野でクラウドサービスの利用が拡大するなど、国内のクラウド市場は今後も成長が見込まれております。その結果、マネージドクラウドサービス「CloudCREW byGMO」の販売も順調に拡大いたしました。

一方、費用面では世界的な人件費高騰の影響を受ける中、成長のための積極的人材投資により人件費が増加いたしました。AI活用による人件費のコスト最適化等、販管費の抑制にも努めております。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高15,108,182千円（前年同期比7.4%増）、営業利益983,953千円（同20.6%増）、経常利益957,410千円（同13.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益703,136千円（同33.1%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

（電子認証・印鑑事業）

電子認証・印鑑事業においては、インターネット社会での大切な取引や情報を守るセキュリティサービスとして、電子認証事業（SSL・クライアント認証）、電子契約サービス「電子印鑑GMOサイン」（以下、「GMOサイン」）および連携アプリ数No.1の国内IDaaSソリューションであるログイン認証強化サービス「GMOトラスト・ログイン」（以下、「トラスト・ログイン」）を展開しております。このうちGMOサインおよびトラスト・ログインを重点商材として位置づけ、積極的な人材投資による開発・営業体制の強化、マーケティング活動による認知度向上を図り、中長期的な事業拡大を目指しております。

また、GMOインターネットグループでは「すべての人に安心な未来」を実現するためにグループ全社のセキュリティ技術を結集し、「ネットのセキュリティもGMO」を展開しております。当社連結企業群は、その重要な一翼を担っており、GMOインターネットグループ間におけるシナジー効果も、当セグメントの成長に寄与しております。

当第3四半期連結会計期間においては、「GMOサイン」の販売が、電子契約市場の成長およびサービスの認知度向上をうけ、WEBからの申込増が牽引し売上を順調に伸ばしました。

また、地方自治体による業務デジタル化を支援する「GMOサイン 行革DX 電子契約」では、既存導入実績のある自治体を中心に販売を強化し、導入拡大を推進しております。同時に行政機関における処分通知等の電子化を実現する「GMOサイン 行政DX 電子公印」についても、自社で電子認証局を保有し当事者型電子署名サービスを提供している強みを生かし、東大阪市などの20自治体に導入が拡大しております。

トラスト・ログインは、営業体制の強化によるユーザー単価の改善や大型案件の受注が進み、売上は順調に伸びてまいりました。

電子認証事業では、欧米地域でのSSL証明書販売の回復および日本と中国の大型案件獲得などにより、売上は堅調に推移しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における電子認証・印鑑事業は、売上高は9,573,566千円（前年同期比7.9%増）、セグメント利益は881,977千円（同15.9%増）となりました。

(クラウドインフラ事業)

クラウドインフラ事業においては、お客さまの幅広い用途に対応するクラウド・レンタルサーバー（ホスティング）サービスのほか、クラウドの導入支援、設計・構築、監視・運用などを代行するマネージドクラウドサービス「CloudCREW byGM0」（以下、「CloudCREW」）を提供しております。

当第3四半期連結会計期間においては、企業のDX推進および生成AI等の技術が進展したことにより、クラウドサービスの更なる利活用が拡大しており、当セグメント全般において良好な受注環境を維持しております。また、サイバーセキュリティ事業を展開する、GM0サイバーセキュリティbyイエラエ社およびGM0 Flatt Security社とのグループシナジー等により、セキュリティ対策サービスを展開し、あらゆるセキュリティ課題に対応することで他社との差別化を図っております。そのような状況の中で、「CloudCREW」が特にマネージドサービスの好調により売上を伸ばしました。CloudCREWはクラウドの安全性を高めるセキュリティ対策と、29年以上にわたるインフラ運用実績およびAWS認定資格などの高い技術力を強みとして、順調に成長しており、今後も積極的な人材投資を行い、中長期的な事業拡大を目指しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるクラウドインフラ事業の売上高は5,263,136千円（前年同期比7.6%増）、セグメント利益は164,266千円（同49.4%増）となりました。

(DX事業)

DX事業においては、電子認証・印鑑事業とクラウドインフラ事業で培ったノウハウを生かし、DX化による業務効率化・高付加価値化を図ることで、企業の様々な課題解決を支援しております。

当第3四半期連結会計期間においては、企業・店舗専用の集客支援アプリ「GM0おみせアプリ」（以下、「おみせアプリ」）が引き続き順調に導入店舗数を伸ばしました。おみせアプリでは、中心となる店舗・販促分野の機能から業務改善分野、決済分野にもサービスを展開し、信販会社向けのデジタル分割決済アプリなどの提供を拡大しております。

一方で、020（ユーザーをオンラインからオフラインへ誘導し、購買を促すマーケティング施策）アプリ事業における自治体向け案件については売上が軟調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるDX事業の売上高は676,349千円（前年同期比3.2%減）、セグメント損失は82,282千円（前年同期は65,769千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、12,179,185千円となり、前連結会計年度末に比べ230,695千円増加しております。主な増減要因は、現金及び預金の増加74,068千円、売掛金及び契約資産の減少58,314千円、前払費用の増加118,357千円、「その他」に含まれる未収消費税等の増加40,284千円であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、6,020,104千円となり、前連結会計年度末に比べ58,429千円減少しております。主な増減要因は、工具、器具及び備品(純額)の減少86,536千円、リース資産(純額)の減少40,611千円、ソフトウェアの増加61,765千円、繰延税金資産の増加20,021千円であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、5,792,286千円となり、前連結会計年度末に比べ189,284千円増加しております。主な増減要因は、買掛金の増加38,975千円、1年内返済予定の長期借入金の増加120,000千円、未払金の減少59,147千円、未払費用の増加63,306千円であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、2,701,912千円となり、前連結会計年度末に比べ234,915千円減少しております。主な増減要因は、長期借入金の減少157,500千円、リース債務の減少47,645千円、繰延税金負債の減少35,030千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、9,705,091千円となり、前連結会計年度末に比べ217,898千円増加しております。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益703,136千円及び支払配当金を427,346千円計上したこと等による利益剰余金の増加275,790千円、その他有価証券評価差額金の増加14,387千円、為替換算調整勘定の減少64,697千円、非支配株主持分の減少7,582千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、2025年2月12日付け公表の「2024年12月期決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,459,291	8,533,360
売掛金及び契約資産	2,647,831	2,589,517
前払費用	760,454	878,811
その他	275,619	337,785
貸倒引当金	△194,707	△160,289
流動資産合計	11,948,489	12,179,185
固定資産		
有形固定資産		
建物	148,736	150,095
減価償却累計額	△95,510	△96,835
建物（純額）	53,225	53,259
車両運搬具	4,053	3,804
減価償却累計額	△4,053	△3,804
車両運搬具（純額）	-	-
工具、器具及び備品	2,786,672	2,862,469
減価償却累計額	△2,078,528	△2,240,862
工具、器具及び備品（純額）	708,143	621,607
リース資産	552,060	546,075
減価償却累計額	△205,505	△240,131
リース資産（純額）	346,555	305,943
有形固定資産合計	1,107,924	980,810
無形固定資産		
ソフトウェア	4,056,064	4,117,829
その他	56,973	65,104
無形固定資産合計	4,113,037	4,182,934
投資その他の資産		
投資有価証券	302,255	301,253
関係会社株式	130,250	130,250
長期前払費用	156,382	140,441
敷金及び保証金	188,052	183,761
繰延税金資産	80,525	100,546
その他	104	106
投資その他の資産合計	857,571	856,359
固定資産合計	6,078,533	6,020,104
資産合計	18,027,023	18,199,290

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,987	63,962
1年内返済予定の長期借入金	770,000	890,000
未払金	720,837	661,689
未払費用	585,568	648,874
契約負債	2,754,313	2,792,325
リース債務	119,091	115,561
未払法人税等	189,264	250,122
未払消費税等	150,343	131,788
賞与引当金	80,604	85,433
その他	207,992	152,527
流動負債合計	5,603,002	5,792,286
固定負債		
長期借入金	1,842,500	1,685,000
リース債務	285,044	237,398
繰延税金負債	705,030	669,999
その他	104,253	109,514
固定負債合計	2,936,827	2,701,912
負債合計	8,539,830	8,494,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	916,900	916,900
利益剰余金	6,995,840	7,271,630
自己株式	△263,331	△263,331
株主資本合計	7,649,408	7,925,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,806	58,194
為替換算調整勘定	1,767,294	1,702,596
その他の包括利益累計額合計	1,811,100	1,760,790
非支配株主持分	26,683	19,101
純資産合計	9,487,193	9,705,091
負債純資産合計	18,027,023	18,199,290

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	14,071,654	15,108,182
売上原価	5,626,768	6,124,428
売上総利益	8,444,885	8,983,753
販売費及び一般管理費	7,629,292	7,999,800
営業利益	815,593	983,953
営業外収益		
受取利息	31,929	35,108
受取配当金	30,647	24,962
投資事業組合運用益	13,050	1,021
その他	22,078	30,197
営業外収益合計	97,706	91,290
営業外費用		
支払利息	23,829	24,339
投資事業組合運用損	10,709	13,909
為替差損	33,821	77,429
その他	1,959	2,155
営業外費用合計	70,320	117,833
経常利益	842,978	957,410
特別損失		
減損損失	-	6,420
関係会社株式売却損	35,341	-
特別損失合計	35,341	6,420
税金等調整前四半期純利益	807,637	950,989
法人税、住民税及び事業税	271,777	304,426
法人税等調整額	3,651	△59,568
法人税等合計	275,429	244,857
四半期純利益	532,208	706,131
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,107	2,994
親会社株主に帰属する四半期純利益	528,100	703,136

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	532,208	706,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,800	14,387
為替換算調整勘定	202,479	△65,964
その他の包括利益合計	195,679	△51,577
四半期包括利益	727,887	654,553
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	722,848	652,826
非支配株主に係る四半期包括利益	5,039	1,727

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日)等を第1四半期連結会計期間の期首の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	1,150,604千円	1,247,464千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子認証・印 鑑事業	クラウドイン フラ事業	DX事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,742,182	4,655,646	673,825	14,071,654	—	14,071,654
セグメント間の内部 売上高又は振替高	131,891	237,248	25,105	394,245	△394,245	—
計	8,874,073	4,892,894	698,931	14,465,899	△394,245	14,071,654
セグメント利益又は損失 (△)	760,790	109,922	△65,769	804,942	10,650	815,593

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額10,650千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子認証・印 鑑事業	クラウドイン フラ事業	DX事業			
売上高						
外部顧客への売上高	9,446,779	5,015,549	645,853	15,108,182	—	15,108,182
セグメント間の内部 売上高又は振替高	126,787	247,586	30,496	404,869	△404,869	—
計	9,573,566	5,263,136	676,349	15,513,052	△404,869	15,108,182
セグメント利益又は損失 (△)	881,977	164,266	△82,282	963,960	19,992	983,953

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額19,992千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。